

第1問

設問A

(1)北極海では海氷の融解により資源の開発や北極海航路の整備が進むが、気温上昇に伴い動植物の生息地域が変化するなど生態系が変化し、永久凍土の融解で地盤の陥没が生じる。

5 (2)減少—D 増加—B

(3)空気中の水蒸気量が減ることで干ばつや火災が生じやすくなる。

(4) a—EU b—インド c—ロシア d—日本

(5)石油・天然ガス中心のアメリカ合衆国では、シェールガスなどの開発で自給率を高めているが、石炭中心の中国では、需要の増加に伴い太陽光発電など再生可能エネルギーの利用を推進している。

設問B

(1)図1—6 デルタ 図1—7 おぼれ谷

(2)図1—6は上流から供給された土砂の堆積作用によって形成されたのに対し、図1—7は河谷の沈水によって形成された。

15 (3)養殖業。波が穏やかな入江であるため牡蠣の養殖が行われるが、周辺の経済活動による汚染物質の流入で水質汚濁が発生する。

5 10 15 20 25 30

## 第2問

## 設問A

- (1)アー中国語 イーアラビア語 ウースワヒリ語
- (2)インターネットで主に使用される英語の国際的地位が向上した。
- 5 (3)インドはヒンディー語の使用が北部に限定され、複数の州公用語があり英語が共通語であるが、インドネシアは多くの地域語があるため、国家の統一言語としてインドネシア語が広く使われている。
- (4)広東語。かつて広東省などの華南の貧困地域から鉱山労働者などとして移住した人々が、同郷による華人社会を築いたため。

## 設問B

- 10 (1)Aーインド Bー韓国 Cーマレーシア
- 距離的に近い英語圏で、経済的・人的交流も盛んなオーストラリアと、旧宗主国で歴史的結びつきが深いイギリスが多い。
- (2)温暖な気候で治安もよい良好な生活環境であることや、アジアからの留学生も積極的に受け入れる政策をとっていること。
- 15 (3)厳しい学歴社会で大学進学率が高く、企業が国際競争に打ち勝つために、英語が堪能な高度人材を求めているから。

5 10 15 20 25 30

## 第3問

設問A

(1) A—スウェーデン B—トルコ C—日本

(2) 周辺のイスラム圏との緊張状態から国家意識が高く、挙国体制をとり、男女ともに高学歴化や社会参画が進んだため。

- 5 (3) 高等教育を受けた女性は管理職に登用されやすい。一方、多くの貧困層の女性は早婚傾向で出生率も高く出産育児に追われ就業できず、出稼ぎに行く者も多く、社会的格差が大きい。

設問B

(1) A—サービス職業 I—農林漁業 U—生産工程

- 10 (2) 生産工程は海外への生産拠点の移動により雇用が減少したのに対し、販売は通信販売やセルフ方式の大型店が増加したため。

(3) 大学が集中する首都圏は若年層の流入が多く、中枢管理機能が集まりオフィスも多く、専門的な知識を生かせる雇用が多いため。

- 15 (4) 出産世代の女性の流入が進み、当時は専業主婦の割合が高く、子育てに専念することができたが、働く女性が多くなり、非婚・晩婚化が進む一方で、子育て支援施設などの普及が進まなかったため。

5 10 15 20 25 30